

### 【3】雲南市立西小学校

#### 3-1 学校の沿革・概要

所在地	雲南市大東町仁和寺 2435 番地 11
校長	和田 邦子
生徒数	1年=17、2年=30、3年=31、4年=22、5年=26、6年=34、特別支援学級 =2 計 162名

- 昭和56年 大東町立春殖小学校・幡屋小学校を統合し、大東町立西小学校として開校  
交通公園・「いわくまコース」(アスレチックコース)完成
- 昭和57年 「いわくまコース」増設拡充
- 昭和60年 県植樹祭に伴い、「いわくまコース」改修、緑の少年団結成
- 平成5年 島根県健康優良校受賞
- 平成12年 開校20周年記念式典
- 平成15年 島根県教育研究大会(大原大会)授業公開(総合的な学習の時間)
- 平成21年 学校環境整備事業により「いわくまコース」整備
- 平成22年 開校30周年を記念し、いきいき発表会にて記念式典開催
- 平成23年 緑の募金公共事業により「いわくまコース」改修
- 平成24年 緑の募金公共事業により「いわくまコース」改修
- 平成25年 環境保全功労者表彰(県知事より)  
緑の募金公共事業により「いわくまコース」改修
- 平成26年 緑の募金公共事業により「いわくまコース」改修

西小学校の位置する大東町は出雲地域のほぼ中央にあり、「古事記」や「出雲風土記」にも記されているように、古くから経済、文化が発達した地域である。北部・東部・南部には標高370～806メートルの山々が連なり、斐伊川の支流赤川が西流して平地を形成している。西小学校は大東町の西端に位置し、室町時代後期に築城された岩熊城跡が近隣にあることから隣接する学校林は「いわくまの森」という名称で親しまれている。

「ふるさとを愛し、お互いに認め合う心豊かでたくましい子どもの育成」を教育目標にかかげ、保育園・幼稚園・中学校と連携した学習にもとりくんでいる。平成2年から、保護者から寄贈された鯉のぼりを校庭上に掲げ、40匹を超える鯉のぼりが空を泳ぐ姿は西小学校の5月の風物詩となっている。

#### 3-2 学校林の現地調査

所在地 西小学校に同じ

面積	林種	樹種	歩合	林齢	樹高	標高
約 1.1ha	天然・人工	雑木、スギ・ヒノキ	50:50	30～50	約15m	約75m

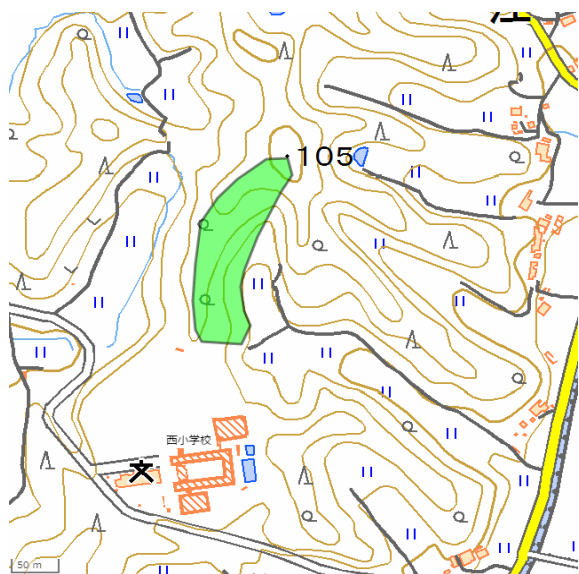


図 1 西小学校学校林概略図

西小学校は昭和56年に統合・新校舎開校と同時に学校林の一部をアスレチックコースとして整備し、「いわくまコース」という愛称で呼ばれ、児童のあそび場となっている。

敷地内の高木層はウラジロガシ、アカシデ、スギ、ヒノキなど。低木層はマユミやサカキなどからなる落広・常広・常針の混交林となっている。アスレチックが設営されている周辺は疎林で、草刈りなど管理がされているが、スギ・ヒノキ群落内はやや密で薄暗く、林床にササ類やシデ類が繁茂しているため気軽に立ち入れる状況ではない。樹齢は30年前後と思われる。間伐後の開けた空間もあるが、歩きやすい尾根沿いが多いため、斜面林はまだ手つかずの状態である。

### 3-3 学校林活動の調査

聞き取り相手	教頭 岡 和志
カリキュラム	総合的な学習の時間（環境学習）、図工、自由時間のあそび場
対象学年	自由時間は全学年、学習は4年生
利用方法	樹木観察、ネイチャーゲーム、枝打ち・間伐体験、紙づくり体験、巣箱づくり
利用頻度	年5回
外部講師・委託先	NPO法人もりふれ倶楽部
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数減少に伴い保護者の数も減ってくるため、PTA活動で整備していくのが難しい</li> <li>・専門知識をもった指導者や管理する人がおらず、その資金を学校から捻出できない</li> <li>・巣箱づくりをとおした野鳥観察は良いが、鳥インフルエンザなどが懸念される</li> </ul>
今後取り組んでいきたいこと	・なにか新しいことを始めようとするためには、いかに維持していくべきか、が大事である

「いわくまの森」は西小学校のみでなく、隣接する西幼稚園さらには大東町内幼稚園4園の交流会の場としても活用され、多くの子どもたちが自然に親しめるように整備されている場所である。整備には「学校環境整備事業」や「緑の募金公共事業」、「ローソン緑の募金」などによる助成金で行っているほか、地元有志の方や保護者等によって行われている。

2009年から「しまね森づくりコミッション」の一環として森林学習が始まり、以降毎年4年生を対象に総合的な学習の時間で活用されている。アスレチックコースで遊ぶだけでなく、コース内に生えている木々に目を向け、自然観察や間伐などによる実体験による環境学習を行っている。今後も続けていく方針であるが、助成金がなくなった場合、どのように継続していくかが課題となっている。

添付資料 3



写真 3-1  
樹木観察 (平成26年6月9日)



写真 3-2  
ネイチャーゲーム (平成26年9月8日)



写真 3-3  
間伐体験 (平成26年10月3日)



写真 3-4  
アスレチックコース (平成27年5  
月13日)



写真 3-5  
いわくまの森出入口 (平成27  
年5月13日)



写真 3-6  
林内スギ・ヒノキ群落 (平成27  
年5月13日)